

放射性廃棄物共通技術調査等委託費

令和3年度概算要求額 2.3億円 (2.3億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 本事業は、放射性廃棄物処分の円滑な実施に向け、諸外国の最新情報の入手・分析等を行うとともに、国内の放射性廃棄物の処分に携わる研究者や技術者の人材確保・人材育成を目的とした調査を実施します。
- 具体的には、放射性廃棄物の処分に係る諸外国における実施プロセス、実施状況、技術の現状、地域振興策等について調査し、その結果をデータベース等として整備しインターネット等を通じて公開します。また、人材確保・人材育成を目的として、基礎的な研究テーマに関する公募型研究開発支援と人材育成プログラムを構築します。
- 令和3年度は、放射性廃棄物の処分に係る諸外国の情報の収集や、次世代の人材育成に向けたプログラムの構築などを継続します。

成果目標

- 諸外国の最新の動向も踏まえた放射性廃棄物処分事業への国民理解の促進や放射性廃棄物処分に携わる人材の育成・継続的な確保を目指します。

条件 (対象者、対象行為、補助率等)

国

委託

民間企業等

事業イメージ

諸外国の最終処分に関する実施状況の調査

調査段階前
(方針検討段階を含む)



韓国



ドイツ



日本



英国

机上調査
(既存文献データ)

現地調査
(ボーリング調査等)



スイス



カナダ

詳細調査
(地下調査施設による調査)



フランス (ビュール近郊)

処分施設建設地の
選定

安全審査



スウェーデン(フォルスマルク)
※建設には未着手



米国

建設等



フィンランド (オルキオト)

【フィンランド】



使用済燃料処分場予定地
(オルキオト)

【スウェーデン】



使用済燃料処分場予定地
(フォルスマルク)

【フランス】



ビュール地下研究所
(ムーズ県、オート＝マルヌ県)